

## 平成30年度 安芸高田市の「仕事目標」

平成30年度に取り組んだ「仕事目標」について、目標達成状況（成果）を次のとおり公表します。

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
総務部	情報管理課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民票等のコンビニ交付サービス事業を開始（7月）</li> <li>ICTを活用した高齢者見守りシステム実証実験を実施</li> <li>支所業務の見直しに伴い、自動交付機導入等を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンビニ交付サービス開始（平成30年7月）</li> <li>3世帯に協力を頂き高齢者見守りシステム実証実験及び実験協力者等（8人）へアンケートを実施</li> <li>高宮町川根郵便局に自動交付機が導入され、運用開始（令和元年5月）</li> <li>八千代支所にマイナンバーカードによる自動受付機導入の調査を実施</li> </ul>
	危機管理課	防災活動普及促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定最大規模降雨に対応したハザードマップの作成及び市民への周知、啓発</li> <li>自主防災組織未結成地域の組織化及び自主防災活動の取組強化等の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定最大規模降雨による浸水想定区域と土砂災害警戒区域等を併せて表示したハザードマップを作成し、避難に関する防災意識向上のため、市長自らによる説明会を各町にて開催（参加者341人）</li> <li>高宮地域に自主防災組織1組織が発足（平成30年9月）、活動カバー率は、0.9%向上し92.1%（平成31年4月）</li> <li>地域防災リーダー養成講習会を開催、修了者80人と防災士のうち11人を地域防災リーダーとして認定（91人）</li> <li>防災組織の活性化を図るため、3組織に広島県防災アドバイザーを派遣し、訓練及び研修を実施（参加者129人）</li> </ul>
	財産管理課	八千代支所移転事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>八千代フォルテ内へ八千代支所事務機能を移転し、平成31年4月の開設を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係団体の要望や図書館移転の調整に時間を要したため、開設時期を平成31年4月から9月に延期（平成31年3月末工事進捗率12%）</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
企画振興部	財政課	行政改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次行政改革推進実施計画で掲げた各改革項目の進捗管理と効果検証を行い、必要な改善、課題の解決に全庁をあげて取り組む</li> <li>業務改善とワークスタイルの見直しを推進するため、事業の優先性や事業効果を重視した点検作業（仕事見直し）を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次行政改革推進項目を実施計画に基づき進捗管理を行いながら着実に推進</li> <li>事務事業の量的削減を徹底して行うこと及び事務手法の改善等、質を高める工夫の検討のため仕事見直しヒアリングを実施（平成30年8月）</li> </ul>
	政策企画課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が有する「観光」「歴史・文化」「農業」などの地域資源を集約する核となる施設「道の駅」を、平成32年4月の開業に向けて整備</li> <li>道の駅の運営母体となる組織や形態、運営方針を決定し開業準備体制を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅の運営母体となる市、JA広島北部、広島駅弁当（株）、（一社）安芸高田市観光協会の4者で運営組織発起人代表者会、運営組織準備会等を開催し、新会社「（株）道の駅あきたかた」を設立（平成31年4月）</li> </ul>
	地方創生推進課	ふるさと納税推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと応援寄附金を活用する5事業を明示し、市を応援しようという気持ちをさらに強く持っていただける仕組みを構築</li> <li>ふるさと応援寄附金額5,000万円を目指し、より多くの方に市の情報を届けるため、新たなポータルサイトへ登録</li> <li>企業版ふるさと納税制度の導入に挑戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度寄附額6,945万円を達成（新たに3つのポータルサイトへ登録し、より多くの方が利用できるように整備）</li> <li>企業版ふるさと納税制度を導入（地域・再生計画〈道の駅、田んぼアートを活用した交流人口の拡大〉の認定）</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
市民部	総合窓口課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月開始の住民票等のコンビニ交付に伴い、マイナンバーカードの普及率向上を図る</li> <li>マイナンバーカード取得者数を5,000人増やし、取得率30.0%以上を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人式、地域祭、市民フォーラムにおいて、普及率向上のための啓発、広報活動を実施</li> <li>休日等にマイナンバーカード交付の臨時窓口を開設（カード取得者数401人増、取得率14.1%〈平成31年3月末〉）</li> </ul>
	環境生活課	ごみ減量化対策事業 （リサイクル推進補助金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙、衣類、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル、廃食油の集団資源回収等による、芸北広域きれいセンターごみ処理量の削減目標900t</li> <li>資源ごみ回収団体数を前年度より10団体以上増やし160団体を目指す</li> <li>各町において中核となる資源ごみ回収団体の支援を強化</li> <li>クールチョイス宣言*を行い、CO<sub>2</sub>排出抑制対策を啓発 ※次世代の暮らし方として選定した地球温暖化を防止するためのアイデアや行動を推進する国民運動の名称</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物回収量（平成30年度） <ul style="list-style-type: none"> <li>▶地域や団体等の資源物回収量618 t</li> <li>▶廃食油930 ℓ</li> <li>▶民間事業者の古紙、白色トレイの回収219.3 t</li> <li>▶ごみ減量化モデル地域事業（甲田支所）11.81 t</li> </ul> </li> <li>資源物回収団体数153団体（3団体増）</li> <li>各小中学校PTAへ資源物回収啓発を実施（11校継続）</li> <li>CO<sub>2</sub>排出抑制対策としてクールチョイス宣言をし、地域の祭でクールチョイスをテーマに展示と啓発</li> </ul>
	人権多文化共生推進課	多文化共生推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次多文化共生プランに掲げる事業を実施</li> <li>拠点施設を活用した外国人市民と日本人市民の協働の場を確立し、月間50人の利用を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語教室の開催、市内全中学校での多文化共生授業、ワンストップ窓口での通訳、翻訳、相談活動、地域での多文化交流支援等を実施</li> <li>拠点施設利用者数月平均63人（合計695人〈平成30年5月～平成31年3月〉）</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
福祉保健部	子育て支援課	24時間保育 子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 病児、病後児保育施設を併設した、幼保連携型認定こども園を甲田町に建設（平成31年4月開園）</li> <li>• 吉田町並びに甲田町の小学校統合に伴い、児童クラブ施設を整備し、利用を開始</li> <li>• 在宅育児世帯支援事業給付金を80世帯へ支給</li> <li>• ファミリーサポートセンター提供会員を70人に増員</li> </ul>	<p>【病児、病後児施設を併設した幼保連携型認定こども園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「甲田いづみこども園」施設工事を平成31年3月に完了（平成31年4月開園）</li> <li>• 定員145人（保育部分130人、幼稚園部分15人）</li> <li>• 病児、病後児保育室定員3人</li> </ul> <p>【放課後児童クラブ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 吉田町「にこにこ児童クラブ」使用開始（平成30年12月）、「愛郷児童クラブ」に名称変更（平成31年4月）</li> <li>• 甲田町「甲田児童クラブ」使用開始（平成31年3月）</li> </ul> <p>【在宅育児世帯支援事業給付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成30年度延べ支給決定世帯数142世帯</li> <li>• 平成30年度支給総額1,480万円</li> </ul> <p>【ファミリーサポートセンター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 提供会員51人、依頼会員51人（平成31年3月末）</li> <li>• 援助活動件数184件</li> </ul>
	健康長寿課	生活支援員制度構築事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域全体で高齢者等を見守る体制を市内全域に構築するため、23地域振興会と生活支援員制度の協定を締結し、既存の見守り制度の統合を進める（12月まで）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 生活支援員制度の取り組みが、75歳以上高齢者の人口割合で平成29年度末の15.4%から48.2%に拡大</li> <li>• 16地域振興会と10単位振興会との間で協定を締結、一人暮らし高齢者等234人の生活実態を把握</li> <li>• 協定地域との連携会議を開催し、取り組みやすい制度の検討を実施</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
福祉保健部	健康長寿課	温泉などの観光施設を活用した健康づくり・冬季等お太助ハウス利用助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 平日の市内の観光施設等の利用促進を含め、百歳体操やウォーキングの取り組み、引きこもり防止、介護予防による心と体の健康促進を図り、健康寿命の延伸を目指す</li> <li>• 積雪等で孤立が懸念される地域の高齢者等に対して、緊急避難的な住まいの確保を支援し、安心して生活できる環境を整備</li> </ul>	<p>【温泉などの観光施設を活用した健康づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 利用者実績546人</li> <li>• 9月から2施設で実施</li> </ul> <p>【冬季等お太助ハウス利用助成事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 平成30年12月から市内3か所に設置（高宮町川根、高宮町原田、美土里町本郷）</li> <li>• 利用実績1人</li> </ul>
	農林水産課	「森の学校」プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 里山に関心を持っていただくため、親子で参加できる講演会を開催（7月）</li> <li>• 次世代を担う子どもたちの心の育成と森林環境教育のため、市内外の小学生協同の森林体験を実施（10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 木材に対する親しみや山の機能、木の文化への理解を深めるため、7月に講演会、ふれあい教室、10月に森の手入れ体験、野鳥を学ぶ、クラフト教室等を実施（参加者450人）</li> <li>• 森林環境教育の啓発のため、市に育つ木の樹木標本を市内小学校に配布</li> </ul>
産業振興部	地域営農課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 道の駅の産直市等の農業振興部門を充実させるため、JA広島北部や関係団体と連携し、野菜、果樹、加工品の生産拡大の推進、集荷体制及び産直連携の検討など販売増に向けて取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 農業振興部門の充実を目指し、JA広島北部と連携してアグリセミナーを開催（参加者550人）</li> <li>• JA広島北部と連携し、産直市生産者大会にて、道の駅産直市の事業概要等を説明し記念講演会を開催</li> <li>• 産直連携の相手先を確保</li> </ul>
		大規模農業団地整備推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 羽佐竹地区の大規模野菜団地へ参入する担い手が円滑に営農を開始するために、バーク堆肥を使用した土層改良等の条件整備を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 羽佐竹地区大規模野菜団地において園芸作物に取り組む2法人で、バーク堆肥を活用した土層改良事業6.23haを実施</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
産業振興部	商工観光課	道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信棟、外構（山城門周辺、多目的広場、キューブボックス）の仕様を決定（6月末まで）</li> <li>市観光協会の道の駅運営組織への参画を決定（9月末まで）</li> <li>道の駅における観光振興、情報発信の運営計画を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携を図り、情報発信棟の仕様を決定し、実施設計に反映</li> <li>市観光協会と協議を行い、道の駅運営組織の構成団体として出資参画することを決定</li> </ul>
		観光推進事業 （田んぼアート整備事業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>「田んぼアート」実施圃場等整備用地を決定（10月末まで）</li> <li>8品種の鑑賞米試験栽培によるデータ収集等を実施（11月末まで）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>田んぼアート公園整備事業地を決定（平成30年10月）</li> <li>美土里町青地区で8品種の鑑賞米試験栽培を実施し、生育状況の検証を行うとともに、次年度に向け3品種の種籾を採取</li> <li>平成31年1月に実行委員会を組織し、次年度に向けた検討を実施</li> </ul>
		地域での仕事づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試しオフィスの改修工事を完了（8月末まで）</li> <li>改修したお試しオフィスを有効活用し、最大15組のお試しオフィスモニターツアーの実施と、5事業者のサテライトオフィス誘致</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お試しオフィスとして使用する研修棟及び宿泊コテージの改修工事が完了（平成30年11月）</li> <li>平成30年9月に12社参加のお試しオフィスモニターツアーを実施し、3事業者のサテライトオフィスを誘致</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
建設部	住宅政策課	空き家活用促進・ 住環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住希望者のニーズに合わせた情報を提供し、市外からの移住、定住者15組35人を目指す</li> <li>・「空き家バンク」制度を周知、活用し、新規空き家登録件数50件、賃貸及び売買成約件数50件を目指す</li> <li>・近隣市から市内事業所への通勤者をターゲットに、優良住宅団地整備区画20区画を目指す</li> </ul>	<p>【空き家情報バンク】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市外から19組50人が移住、定住</li> <li>・新規登録50戸、契約成立33戸</li> </ul> <p>【優良住宅団地整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良住宅団地開発支援補助金を利用して住宅用地の整備を支援</li> <li>▶ 吉田町常友地区10区画</li> <li>▶ 八千代町下根地区7区画</li> </ul>
	建設課	東広島高田道路整備 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県西部建設事務所が12月にトンネル工事の請負契約を締結、ボックスカルバート工事を完了</li> <li>・吉田側下流排水対策工事を実施</li> <li>・トンネル残土処分地の年度内の取得を目指す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県西部建設事務所がトンネル工事の請負契約締結（平成30年12月）</li> <li>・正力側ボックスカルバート工事を完了（平成30年8月）</li> <li>・吉田側下流排水対策工事を完了（平成31年3月）</li> <li>・トンネル残土処分地の土地取得について一部を除き承諾を得た</li> </ul>
		道の駅整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅施設整備のため国土交通省と事業調整を行い、本年度内に用地買収、建物移転補償事務を完了し、施設造成、市道改良工事の一部を完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市分の用地買収、建物移転補償事務を完了（平成31年1月）</li> <li>・施設内貯留槽工事を完了（平成31年3月）</li> <li>・一部舗装工事を除き市道改良工事を完了（平成31年3月）</li> <li>・道の駅新築工事の請負契約締結（平成31年3月）</li> </ul>
	上下水道課	上下水道料金改定に 向けた周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者負担の適正化と会計の健全化を図るため、条例改正を行い水道料金及び下水道使用料を改定</li> <li>・12月使用分から新料金制度への料金改定を目指す</li> <li>・市民の皆さまへパンフレットの配布、広報紙などにより周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会において条例改正の後、水道料金及び下水道使用料の改定を実施（平成30年12月使用分から）</li> <li>・広報あきたかた等により、改正内容を市民、事業所に周知</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
教育委員会	教育総務課	ICT利活用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•学力定着のための副教材（ドリル等）及び効果的な授業を行うための学習支援ソフト搭載タブレット端末を活用した授業の全市展開へ向けた環境整備（平成31年度開始）</li> <li>•ICT教育定着のための支援員配置に向けた検討並びに研修を通じた教員の意識改革とICT活用能力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•可愛小学校、川根小学校、来原小学校、船佐小学校の全普通教室へ電子黒板、実物投影機、教員用PCを整備（21台）</li> <li>•各学校より情報化推進員を選任し、学習支援ソフト等を導入するための担当者会議及び先進地視察を実施</li> </ul>
	学校教育課 生涯学習課	学力向上推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>•児童生徒の確かな学力定着のため、広島県「基礎・基本」定着状況調査の児童生徒質問紙調査における学習意欲に関する項目の肯定率を3%向上</li> <li>•「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生の割合90%以上</li> <li>•中学校3年生の英検3級取得率45%以上</li> <li>•地域未来塾において、学校との連携により、受講生個々の苦手分野をフォローする仕組みを確立</li> </ul>	<p>【学習意欲】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•広島県「基礎・基本定着状況調査における学習意欲肯定率は、平成30年4月80.1%、平成31年2月79.3%となり、0.8%減</li> </ul> <p>【小学生の外国語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•「外国語活動が楽しみ」「もっと英語を勉強したい」と思う小学生の割合84.1%</li> </ul> <p>【中学生の英検取得率】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•中学校3年生の英検3級以上の取得率33.7%（取得生徒数77人／中学校3年生生徒数228人）</li> </ul> <p>【地域未来塾】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•地域未来塾のプログラムの見直しにより、指導者と担任教諭等が受講生の苦手分野等の情報を共有し、自主学習教科の選択についてアドバイスできる仕組みを構築</li> </ul>

担当部署名		事務事業名	事業概要・目標	目標達成状況（成果）
教育委員会	学校統合推進室	学校規模適正化推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統合校となる可愛小学校の改修工事を実施</li> <li>• 高宮地区小学校統合準備委員会を設置</li> <li>• 中学校の規模適正化に向けた調査、研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統合校となる可愛小学校の校舎および体育館の改修工事を完了（平成31年3月）</li> <li>• 高宮地区の小学校統合準備委員会を平成30年8月に設置し、11回の会議を開催</li> <li>• 統合目標年月日や統合校の位置等について合意</li> </ul>
	地方創生推進課 商工観光課	民泊推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「民泊・体験プログラム」のモデルを確立（7月末まで）</li> <li>• 「民泊・体験プログラム」のモデルについて広報、説明し、協力者を募集（30件）</li> <li>• 「民泊・体験プログラム」の事業化、ツアー実施体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 「民泊・体験プログラム」実践者を募り、15人の参加者によりワークショップを開催（平成30年10月）</li> <li>• 市民を主体とした研究会を立ち上げ、情報発信のあり方や市の地域資源について協議を開始</li> <li>• モニターツアーを開催（平成31年3月）</li> <li>• 市の民泊や体験プログラムのあり方、事業の進め方の方針を取りまとめ（平成31年3月）</li> </ul>
産業振興部	企画振興部			